

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日： 2024年 2月 25日

事業所名： パンダキッズ元町

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	学習や室内活動において十分なスペースが確保されている。複数の活動が一度にできるが児童がクールダウンできる場所があれば尚良いと思う。	(21回答) はい(19) わからない(2) 「年齢が上がっても広いスペースがあるので助かっているというご意見を頂きました。	十分なスペースが確保され、ご家族からも子どもがのびのびと過ごしていると回答を頂きましたが、視覚、聴覚からの刺激を遮る場所の確保が課題。
	2 職員の適切な配置	職員の急な体調不良、家庭の事情などで欠勤した場合、困窮する事がある。運転手等が不足する時は、他の事業所の職員に応援を頂いている。	(21回答) はい(18) どちらともいえない(1) わからない(1) 「専門分野の先生が活かされているか伝わりにくい」と言うご意見を頂きました。	配置人員が少なくなる時には、職員間の連携を深めて安全を保っていきます。専門職員の知識、技能を活かせる体制を整えていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	玄関入り口に階段があり、扉を開ける時に踊り場で密集する事がある。側溝も深いため注意が必要。	(21回答) はい(21) 「特性に配慮している所をインスタ等であげてもらえると保護者はわかりやすい」	視覚からの情報でも理解しやすい様に配置しています。個別指導や鎮静が必要な場合は更衣室、談話室等で対応しています。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	児童が使用している所は清潔に保つように努力している。普段手がまわらない所は時間が空いた時間にチェックしている。	(21回答) はい(21) 「清潔で居心地がよさそう」という意見を頂きました。	感染症に対しては、充分に気を配り、感染予防にも気をつけていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	モニタリング、支援に関しての話し合いを随時行い、職員全員が意見を出しやすい環境を作っている。		主に午前中に気になる所を話し合い、普段から職員同士のコミュニケーションをとるように心掛けている。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	神戸市や子ども家庭センターなどと連携はとっているが、第三者による外部評価は利用していない。		行政などの通達や研修を利用して、働きやすい事業所を目指していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	全員がウェブ研修を含めて障がい特性、虐待防止、衛生管理など外部での研修も受けている。		行政からの広報や、一般の研修をwebや講習会などを受け、職員に共有している。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	モニタリング、支援計画会議は全員が関わるようにして、よりたくさん意見を集めている。保護者の要望も書面や対面で聞いている。	(21回答) はい(20) どちらともいえない(1) 「心配事があると改善に向けて計画に入れてくれている」などのご意見を頂きました。	支援計画書作成後に支援計画会議などで職員それぞれの意見を聞き、ご本人やご家族の思いと合わせて総合的に作成するようにしています。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別での療育が必要な場合、集団での活動が有効な場合、それぞれに行っている。	(21回答) はい(20) どちらともいえない(1) 「手先に訓練で伸びてきているので嬉しい」のご意見をいただきました。	個別の活動を全員にできているわけではないが、普段の遊びの中や集団活動からも児童に適した療育を考えています。タイミングが合わず、個別療育があまりできない児童が出てしまうのが課題。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	ご家族の意見も含め児童の特性、将来の事も議論して計画書に記載している。	(21回答) はい(20) どちらともいえない(1)	常にご家族にわかりやすい計画書になっているかを意識して作成しています。支援者が必要だと思う課題があれば、保護者の方に説明しています。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画書作成時以外にも計画内容を職員同士で確認しあい、どういう支援が適しているかを共有している。	(21回答) はい(18) どちらともいえない(1) わからない(2) 「段階を踏んで友達と交流できるように支援して頂き遊べるようになってきた」というご意見を頂きました。	普段の職員同士のやり取りからも、職員全員が支援計画書の内容を把握して支援できるようにしていきます。わからない場合は気軽に話し合える環境を作っています。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	普段からアイデアがあれば出し合っている。事前に内容を職員で共有して細かい部分も確認している。		保護者の方の意見も取り入れ、職員それぞれの得意な分野を活かし、子どもたちが興味を持って取り組める内容を考えています。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は宿題など学校があるからできる支援を行い、休日や長期休みには、長時間のご利用だからこそこできる支援を行っている。		平日の利用時間は短いため、全員に個別対応ができないので、個別の他遊びや会話からそれぞれの課題に対応しています。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	同じ活動内容でも視点を変えたり、課題を変えたりして工夫するように心がけている。	(21回答) はい(19) わからない(2) 「子供たちが楽しめそうな活動を考えてくれる」「長期休みも通常の利用曜日以外でも参加したい」という意見を頂きました。	各職員からテーマを持ち寄ったり、前職での経験を活かしたりしている。前回と同じ活動でも課題やレベルを変えてその児童に合ったプログラムを考えています。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	当日に出勤する職員が揃った時点でミーティングを行っている。当日欠席があったり急遽状況が変化するので全員が共有できていない時がある。		学校への送迎前には全員でその日の予定、注意点、前日の引継ぎ項目等を共有していますが、その後の変更に対しても連絡しあってできるだけ共有できるようにしていきます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後は、その日に行った支援内容を把握して、職員で内容に問題がないかを話し合っている		送迎からの帰社後、退社までの時間が少ないが、できるだけその日の支援や、お送り時の保護者対応の件を共有している。
	10 日々の支援についての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日の日誌と療育日誌で記録している。		現在、業務日誌を毎日つけ、日々の様子を保管しています。個々の療育に関しても別に記録をつけています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングの他、必要な状況であれば、みんなの意見を取り入れて、見直しを検討している。		支援計画書更新時の他にも気になる事があれば、対応して支援内容の変更を考えていきます。	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	支援センターや相談支援事業所からの依頼があれば参加、協力している。	各職員から聞き取りを行い担当者会議に参加しています。場合によってはその児童に精通している職員も参加していきます。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当利用者なし		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当利用者なし		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	当社児童発達支援事業所とは密に連携を取っている。	当社児童発達支援事業所とは密に連携をとっています。学校の担任や、コーディネーターの先生、併用先の事業所とも連携をとっています。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当年齢の利用者なし		現在該当年齢の利用者はいませんが、その際には情報提供は行っていきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要な時は連携をとっている。 各種研修もインターネットなどで探している。		専門機関との連携をとる機会は少ないが、様々な研修を職員や保護者の方へ提供している。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	ほとんど交流がないが、近くの公園に行った時には近所の子供たちと遊ぶことはある。	(21回答) はい(4) どちらともいえない(1)  いいえ(6) わからない(10) 「図書館や公園での活動があるが、活動の意味がわからない」との意見を頂きました。	現在はほとんど関わりはないが、機会があれば、交流の場を作っていきたいと思います。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在は外出した時に挨拶をする程度。		現在はほとんど関わりはないが、機会があれば、交流して行きたいと思います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	連絡ノートやお送りの際に随時お伝えしている。	(21回答) はい(21) 「変更があれば説明をしてくれている。」という意見を頂きました。	支援についてはお送りの際に細かい出来事をお伝えし、その他ご質問があればできるだけ迅速にお答えできるようにしています。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書作成段階でご家族の思いや要望をお聞きし、計画書お渡し時にできるだけ対面での説明をしている。	(21回答) はい(18) どちらともいえない(3) 「丁寧に説明を受けている。」というご意見を頂きました。	計画書をお渡す際に、出来るだけ口頭でも説明させて頂いています。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	トレーニングは実施していないが、相談があれば、ご提案と言う形で対応させて頂いている。講習会などのご案内もしている。	(21回答) はい(11) わからない(5) いいえ(1) どちらともいえない(4) 「前日も記入したが家族支援のプログラムをしてほしい」というご意見を頂きました。	職員の知識、技術の向上を目指し、ご家族へも全職員が提案できるようめざしています。インターネットなどで講習やマニュアルなどがあれば、お知らせしていきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡ノートを中心に共有をし、ご希望があれば、随時見学、面談を実施している。	(21回答) はい(21) 「最近の気になる事などをよく聞いてくれて、共通理解ができています」というご意見をいただきました。	送迎時や電話、メールなどで困り事など相談があった時は、できるだけその場で返答できるように、各職員の知識や技術の向上を目指していきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からのご要望があれば、出来る範囲で対応している。また、専門機関へのご案内をしている。	(21回答) はい(18) どちらともいえない(3) 「送迎時にいつも相談できている」「困った時にはすぐ対応してくれている」というご意見を頂きました	面談を気軽にご希望頂けるよう、お知らせしています。必要な時は他機関への紹介を提案したり、ご家族の不安を軽減していきたいと思えます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在父母の会等がない。	(21回答) はい(1) どちらともいえない(4) いいえ(12) わからない(4) 「父母の会はないが講演会などの情報が欲しいと伝えるとお知らせを頂けるようになった」など様々なご意見を頂きました。	保護者同士の交流の機会がほしいという意見もあれば必要ないという意見もあるので、今後ご意見を聞いていきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情解決及び相談受付を設置して対応している。マニュアルを職員全体で確認し合い対応できるようにしている。	(21回答) はい(15) どちらともいえない(1) わからない(5)	送迎時にお聞きした場合、すぐに責任者に伝え、対策を共有して、できるだけ迅速に保護者の方へお伝えできるように心がけている。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	保護者の方とも連携をとり利用者の方の特性等に配慮し、少しでもたくさんのコミュニケーションを取って情報を共有している。	(21回答) はい(20) どちらともいえない(1) 「いろんな方法を試みている。」というご意見を頂きました。	子供たちの様子に目を配り、サインが出ていないかを職員全員で気をつけています。研修等で障がいの理解を深め、ご家族の方へも情報を提供しています。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	インスタグラムの配信や広報誌の配布等定期的に工夫しながら発信している。	(21回答)はい(19) どちらともいえない(1) わからない(1) 「インスタグラムや広報で楽しんでいます」というご意見を頂きました。	個人情報に注意しながら、日々の活動や通所時の子供たちの様子を見て楽しんで頂けるように工夫して発信していきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	広報やインスタグラムの写真には気をつけている。	(21回答) はい(20) どちらともいえない(1)	関連施設や病院などで共有しなければいけない時は、保護者の方へお知らせするようにしています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルを定期的に職員で確認している。	(21回答) はい(20) わからない(1)	職員へ各緊急時のマニュアルの確認や研修を定期的に行っていきます。保護者の方へも研修等の報告をさせていただきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	地震や火災の怖さや、実際にあった時のひっ迫状況も伝えて訓練している。	(21回答) はい(21) 「定期的に訓練をして報告も頂いている。」「どこに避難しているかがわかるのでありがたい」とのご意見を頂きました。	地震災害、火災。防犯、交通安全など最低年1回ずつ行い、今後も実施していく予定です。自分の命を自分で守る意識を伝えていきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止研修、身体拘束適正化研修を全員行って具体的な事例を共有している。		虐待については、自分の意識だけでなく、相手や周りの人たちがどう感じるかも考えながら、日々支援するように心がけています。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	他の児童に影響が及ぶと判断した場合は、瞬間的に体を止めて抱える事があり、保護者の方に事前に伝え、実際にあった場合はお伝えしている。		身体拘束適正化委員会を設置して対応できるようにしています。瞬間的にでも体を抑える事があり得る場合は支援計画書にも記載をしました。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	ご家族からの情報から、おやつや調理実習の際に表を作って二人以上でチェックしている。医師の指示書はもらっていない。		利用者全員のアレルギーを表にまとめ職員がすぐ目に見える所へ配置し、生産ラインでのアレルゲン使用がある物にも目を配っています。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの事例があれば、職員全員で共有している。		ヒヤリハット事例が起きた場合は速やかに原因を突き止め対策を講じるようにしています。事例は書類として保管し職員で見返す事により今後の教訓としていきたいと思えます。